科目名	単位数	指導学年•類•型		必修・選択
世界史B	4	3年1類A	• C型	選択
授業担当者		教科書名	副教材等	
****		高校世界史B	最新世界史图	図説タペストリー
<u> </u>		(山川出版社)	(帝	国書院)

- ・世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本史等と関連付けながら理解する。
- ・世界史の学習を通して文化の多様性・複合性について理解を深め、現代世界を広い視野から考察する態度 を身につける。

評価の観点と方法について

中間・期末考査の点数を基準として、授業ノートや長期休暇課題等の提出状況を考慮した平常点を加味し、 総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	第5章			
		ヨーロッパ世界の形成	現在のヨーロッパ各国の成立過程を	・西ヨーロッパ世界の成立	
		と発展	理解させる	・東ヨーロッパ世界の成立	
				・西ヨーロッパ中世世界の変容	
				・西ヨーロッパの中世文化	
		第6章			
		内陸アジア世界・東ア	内陸アジア・東アジアにおける大国	・トルコ化とイスラーム化の進展	
	5	ジア世界の展開	の繁栄と、諸地域の自立化を理解さ	・東アジア諸地域の自立化	
			せる	・モンゴルの大帝国	中間考査
_		第7章			
学		アジア諸地域の繁栄		東アジア世界の動向	
期	6)		・清代の中国と隣接諸地域	
				・トルコ・イラン世界の展開	
				・インド・東南アジア世界の展開	
		第8章	大航海時代による世界の一体化とヨ	・ヨーロッパ世界の拡大	
		近世ヨーロッパ世界の	ーロッパ近代国家形成についてその	・ルネサンス	
		形成	影響・特徴を理解する	・宗教改革	
	7			・ヨーロッパ主権国家体制の形成	
		第9章	重商主義と啓蒙専制主義、市民革命	・重商主義と啓蒙専制主義、	ノート提出
		近世ヨーロッパ世界の	ヨーロッパの海外進出等について理	・ヨーロッパの海外進出	期末考査
		展開	解する		
					I

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	第10章 近世ヨーロッパ・アメ リカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民 国家の発展	産業革命などによってどう社会が変わったかを理解するナポレオンの全盛、失脚について理解する ウィーン体制の仕組み、アメリカ合衆国の発展等について理解する。	 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・19セ世紀欧米の文化 ・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編 ・南北アメリカの発展 ・19セ世紀欧米の文化 	更季課題提出
期	11 12	第12章 アジア諸地域の動揺 第13章 帝国主義とアジアの民 族運動	アジア諸地域の変容、植民地化等について理解する 帝国主義の成立と世界分割の進展を理解する	 ・西アジアの変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 ・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動 	ノート提出 期末考査
三学期	1	第14章 二つの世界大戦	第一次世界大戦の経過とその後の変化を理解する 世界恐慌における各国の政策とファシズム体制の仕組みを理解する 第二次世界大戦の経過について理解し、戦争とは何か考える	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	ノート提出 学年末考査

その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

- ・1年次の世界史学習の続きから授業を行います。
- ・共通テスト等の受験については、個別に対応する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	켙	必修・選択
世界史B	3	3年3類		選択
授業担当者	Ž I	教科書名		副教材等
***		高校世界史(山川出版社)	プリ	ント等を準備

科目の到達目標
1年次で学習した「世界史 $ B $ 」の通史学習に加えて、政治史・社会史・文化史からいくつかのテーマを
設けて各テーマを深く学び、世界史の理解を深める。生徒の理解度に合わせて学習し、必要に応じてプリ
ント教材なども使用する。

評価の観点と方法について
定期テストを基本に評価するが、夏期休暇の課題も平常点として加算する。また、ノート・プリント類
の提出等も平常点の対象にする。テストでは史料から考えさせ、歴史事象の因果関係を把握しているか
どうか確認するなど、単なる名称や年代暗記の確認のみにならないよう留意する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	5	アジア諸地域の繁栄	16~17 世紀にアジア 各地で成立した大国に ついて学ぶ。	・東アジア世界の動向・清代の中国と隣接諸地域・トルコ・イラン世界の展開・インド・東南アジア世界の展開展開	
一学期	6	近世ヨーロッパ世界の形成	アジアの富を求めて積極的に海外、進出、にのりだしたヨーロッパ諸国について学ぶ。 ヨーロッパ諸国が主権国家体制を確立したことを学ぶ。	・ルネサンス	中間テスト
	7				期末テスト 夏期課題の指示

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	近世ヨーロッパ世界の展開	近代民主政治の確立を 経て、ヨーロッパの社 会のしくみや文化が、 世界の指標となった背 景を学ぶ。	・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17~18世紀ヨーロッパの文化 と社会	夏期課題の提出
二学期	10	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立		・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編 ・南北アメリカの発展 ・19世紀欧米の文化	中間テスト
	12	アジア諸地域の動揺		・西アジアの変容・南アジア・東南アジアの植民地化・東アジアの激動	ノート提出
					期末テスト
三学期	2	帝国主義とアジアの民族運動	2 度の世界戦争が起こる背景を学ぶ。	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動 ・第一次世界大戦とロシア革命	ノート提出 学年末テスト

その他

大学等の受験に対応できるよう、必要に応じて、文化史をプリント教材で進める等、進度上の工夫を行う場合がある。

科目名	単位数	指 導学年 ・類	類・型	必修・選択
日本史A	2	3年2類	文型	選択
授業担当者		教科書名		教材等
****		高校日本史B	詳説日本史図録第	第8版(山川出版社)、
ጥጥጥ		(山川出版社)	プリント教材等	

戦後史を学習したあと、大学入学共通テスト対策および私大入試対策として、実践問題の演習と解説を行う。

評価の観点と方法について

定期考査を評価の基本とし、ノートや夏季課題の提出状況・内容などを平常点として加味して総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	第11章 現代の世界と 日本	戦後の日本の移り変わり について、世界との関係に 留意して理解する。	・占領と国内改革	
1 :	5			・国際社会への復帰と高度経 済成長	
学期	6				ノート提出
	7			・石油ショックと低成長の時代	期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9			・新しい国際秩序と日本の課題	夏季課題提出
二学期	10	実践問題演習·解 説	入試過去問・実践問題の演習を通じて、復習を行い、 入試問題に対応できる力をつける。	・プリント教材による、 入試過去問・実践問題の演習 および解説。必要に応じて重 要項目の復習等も行う。	
	11				ノート 提 出
	12				期末考査
三学期	1	実践問題演習・解 説	入試過去問・実践問題の演習を通じて、復習を行い、 入試問題に対応できる力 をつける。	・プリント教材による、 入試過去問・実践問題の演習 および解説。必要に応じて重 要項目の復習等も行う。	

その他	(履修上の留意点	大学進学のための学	習など)
実践問題	[はできるだけ家庭	で演習するようにし、	授業では解説を中心に行う。

科目名	単位数	指導学年·類·型		必修・選択
日本史B	4	3年1類A⋅C型		選択
授業担当者		教科書名	副教材等	
***		高校日本史 B (山川出版社)	プリ	リント等

- ① 2年次に学習したことを引き継ぎ、日本史の基本的事項(近世~近代・現代)を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年5回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	近世	幕府の外国、キリスト教に対	近世の外交 海禁政策	
		幕藩体制の成立と	する対応について学習する。	文治政治への転換	授業中の関心・意
		展開	また、幕政の安定により、戦	元禄文化	欲・態度
		・江戸初期の外交	国の気風を改める改革や経済		
		・幕政の安定	発展にともなう文化の創造を		
		・経済の発展	学習する。		
		・元禄文化			
	5				
		幕藩体制の動揺			
		・ 幕政の改革	江戸幕府の支配が揺らいでい	幕政の改革	ノート提出
		・江戸幕府の衰退	く経緯を理解する	幕藩体制の動揺と外圧	中間考査
		・化政文化		幕藩体制の動揺と政治改革	
			江戸時代後期の政治・経済・	新しい学問の形成と化政文化	
学			文化について理解する		
期		近代・現代			
NA1	6	近代国家の成立			
		・開国と幕府の滅	ペリーの来航と日本開国の経	ペリー来航と日本の開国	
		亡	緯を理解する	開国による社会の変化	
			幕末の攘夷運動と幕府や新政	幕府の動揺	
			府の動きを理解する	幕府の滅亡	
				統一国家の形成へ	
	_	ロロンたみルキピ		# ** ** * * ** ** ** ** ** ** ** ** ** *) THIII
	7	・明治維新	明治政府の発足による社会の	新政府の発足	ノート提出
			変化と国際情勢について理解	近代国家を目指して	期末考査
			する	殖産興業と文明開化	
				明治初期の対外関係	
				新政府への反抗	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	・立憲国家の成立	自由民権思想と、それに対しての政府対応について理解す	自由民権運動専制政治への批判	授業中の関心・意
			る	憲法の制定	欲·態度
			2	立憲政治の成立	H/C 12VX
		近代・現代			
		近代国家の成立	日清・日露戦争に至った経緯	条約改正	
		・大陸政策の展開	とその影響について理解する	朝鮮をめぐる対立	
				日清戦争と東アジアの変容	
	10			中国分割と日露戦争	
		アルマルシュルロ		日露戦争後の国際関係	
		・近代産業の発展	民衆の生活の実態、明治期の	工業化と資本主義の発達)
		・近代の文化	文化について理解する	社会運動の発生 新しい文化の形成	ノート提出 中間考査
					中间与国
<u></u>		二つの世界とアジア			
学		• 第一次世界大戦	第一次世界大戦が諸外国と日	大正政変	
期	11	と日本	本に与えた影響を理解する	第一次世界大戦と日本	
				第一次世界大戦後の国際情勢	
				第一次世界大戦の影響	
		・政党政治と大衆	大衆文化の実態を理解する	大衆社会の形成	
		文化 ・恐慌の時代	世界の経済状況	世界恐慌	
	12	・軍部の台頭	昭和初期の内政と外交	揺れ動く経済と中国侵略の本格化	
		・第二次世界大戦	日中戦争開戦の経緯について	日中戦争と国内体制の改変	
			理解する	第二次世界大戦前の国際情勢	ノート提出
			第二次世界大戦、アジア太平	軍部の台頭	期末考査
			洋戦争開戦の経緯、戦争の経		
			過と社会への影響について理	アジア太平洋戦争	
			解する	戦時下での国民の生活 敗戦	
	1	近代・現代		MATA	
	_	現代の世界と日本	戦後の国内・国際社会につい	戦後の国際秩序	授業中の関心・意
		・占領下の改革と	て理解する	日本の民主化	欲・態度
三		主権の回復		占領下の政治	ノート提出
学				冷戦と日本の独立	学年末考査
期	_				
	2				

その他(履修上の留意点・大学進学等のための学習など)

- ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等の配慮をします。
- ・日本史は暗記が欠かせない科目ですが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型		必修・選択
日本史B	2	3年1類 B 型		選択
授業担当者		教科書名	副教材等	
***		高校日本史B (山川出版社)	山川 詳説日本史図録 補助プリント等	

- ① 日本史の基本的事項(近世~近代)を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年3回の定期考査の点数を基本として、授業プリント、長期休暇課題等の提出状況等を考慮した平常点を加 味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	幕藩体制の成立			
		• 織豊政権	織田信長、豊臣秀吉の登場に	大航海時代の余波	
			よる時代の変化を理解する	織田信長の天下布武	
				豊臣秀吉の全国統一と対外政策	
				桃山文化	
		・江戸幕府の成立	江戸幕府が成立する経緯と、徳	江戸幕府の成立	
			川家康、秀忠、家光の権力掌握	幕府と藩の支配体制	
	5		の経緯、幕藩体制のしくみを理	年貢と身分制	
		・江戸初期の外交と	解する	禁教と貿易統制	
		文化		寛永期の文化	
_		幕藩体制の展開	江戸幕府の支配が確固たるも		
学		・幕政の安定	のになる経緯を理解すると共		
期		・経済の発展	に、民衆史を認識する	経済の発展	
794	6	・元禄文化		町人文化と学問の発達	
				元禄文化	
		幕藩体制の動揺	幕藩体制のひずみと弱体化の		
		・幕政の改革	過程・外圧、そして文化につい		
			て学習する	田沼時代	
				宝暦・天明期の文化と思想	
		・江戸幕府の衰退		寛政・天保の改革と鎖国の動揺	授業プリント提出
	7	・化政文化		化政文化と学問・思想	
					期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	近代国家の成立	開国による幕府の動揺と国内	開国の影響と尊皇攘夷の動き	夏季課題の提出
		・開国と幕府の滅亡	外の動きについて学習する	幕府の滅亡	
		・明治維新	新政府の動きについて学習す	明治維新	
			る	殖産興業と文明開化	
				明治初期の国際情勢	
	10	・ 立憲国家の成立	近代国家の形成への道のりと	自由民権運動	
			明治の外交政策から学習する	立憲政治の成立	
				初期議会	
		・大陸政策の展開		条約改正	
				日清戦争	
学				日露戦争とその後の国際関係	
期		・近代産業の発展		産業革命	
				社会運動の発生	
	11	・近代の文化		明治の文化と学問・思想	
			第一次世界大戦開戦の経緯と		
		とアジア	その影響について理解する	fate of HEREL WIS	
		・第一次世界大戦と		第一次世界大戦	
		日本		大戦景気と米騒動	
		マムジャナレント 1 1・竹・土・		ワシントン体制	松米~~17.11.111
	10	・政党政治と大衆文		戦後恐慌と関東大震災	授業プリント提出
	12	化		社会運動の高揚と大衆文化	期末考査
	1	・恐慌の時代		恐慌と内外政策の転換	授業プリント提出
	1	・ VEVINTo NH41 C		心加入的人	学年末考査
=					于170万 <u>五</u>
一学					
学 期					
7,41					

その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

- ・3年次では、主に近世~近代の学習を行う。
- ・軍部の台頭以降の日本史については授業の中で十分に取り扱うことができないので、大学受験に対応する ために各自計画的に学習を進めるよう指導する。
- ・語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れや影響、現在の自分たちとも関連づけて考えさせる。

科目名	単位数	指導学年•類•型		必修・選択
日本史B	3	3年2類文型		必修
授業担当者		教科書名	副	教材等
***		高校日本史B	山川 詳説日本史図録	
		(山川出版社)	山川高	校日本史ノート

- ① 2年次に学習したことを引き継ぎ、日本史の基本的事項(近代~現代)を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多面的・多角的に学ぶ。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年4回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	近代国家の成立			
		・開国と幕府の滅亡	開国の影響と幕府滅亡に至る経	開国と幕府の動揺	
			緯について、外国との関係ととも	尊皇攘夷運動と倒幕	
			に理解する		
		• 明治維新	明治政府の発足による社会の変	中央集権体制の確立	
	5		化と国際情勢について理解する	明治新政府の政策	
				文明開化	
		・立憲国家の成立		自由民権運動と立憲体制の確立	ノート提出
		・大陸政策の展開	日清戦争・日露戦争の経緯と戦後	条約改正	
			の影響について理解する	日清戦争	中間考査
				日露戦争	
		・近代産業の発展	産業の発展に伴う社会変化につ	産業革命 社会運動	
_	6	・近代の文化	いて理解する	近代産業の発展と社会問題	
学			明治時代の文化・学問・思想につ	明治時代の学問・思想・文化	
期			いて理解する		
791		二つの世界大戦			
		とアジア			
		・第一次世界大戦と	第一次世界大戦開戦の経緯とそ	第一次世界大戦前の日本の政治	
		日本	の影響について理解する	第一次世界大戦後の国際情勢	
				第一次世界大戦の影響	
		・政党政治と大衆文		政党政治の展開	
		化		大正デモクラシー	ノート提出
	7			文化の大衆化	
					期末考査

	月	学習単元•項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	・恐慌の時代	恐慌と内外政策の経緯について	昭和初期の国内政治	夏季課題提出
			理解する	昭和初期の外交政策 第二次政界大戦前の国際情勢	
		・軍部の台頭	軍部の台頭による満州事変・政党	軍部の台頭	ノート提出
		中III/2口块	政治の崩壊について理解する	李山607日35	/ 1 J/ELLI
		・第二次世界大戦	日中戦争とアジア太平洋戦争開	 日中戦争	
		210—2 (—212 ()2	戦の経緯、戦争の経過と社会への		中間考査
	10		影響について理解する	アジア太平洋戦争	
				戦時下の国民生活と社会のようす	
				敗戦	
		現代の世界と日			
=		本			
学		・占領下の改革と主	戦後の国内・国際社会について理	戦後の国際情勢	
期	11	権の回復	解する	日本の民主化	
			戦後の政治・世界情勢の流れを理	占領下の政治	
			解する(必要に応じてプリントを	戦後の経済再建	
			使用する)	戦後の人々の暮らし	
		・55 年体制と高度		冷戦と日本の独立 55 年体制の成立	
		経済成長		高度経済成長	ノート提出
		・現代の情勢			/ 1 J/C L-1
		演習		 大学入学共通テストを見据えた演習を	
				行う	
	12				
					期末考査
		大学入学共通テス			
		卜直前対策			
三					
学					
期					
7	<u>م ارا م</u>	/団体しる切立と	上学准学体のたみの学习など	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	

その他(履修上の留意点・大学進学等のための学習など)

- ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や進度を工夫する。(必要に応じてプリント教材なども使用)
- ・大学入学共通テスト対策の実践問題演習も行う。

科目名	単位数	指導学年・類・型		必修・選択
日本史B	3	3年3類		選択
授業担当者		教科書名	副教材等	
****		日本史 B (山川出版社)	プリント等	

- ① 2年次に学習したことを引き継ぎ、日本史の基本的事項(近世~近代・現代)を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年5回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	近世 幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・江戸幕府の衰退 ・化政文化	江戸時代中期における政治・ 経済・文化を理解する 江戸幕府の支配が揺らいでい く経緯を理解する 江戸時代後期の政治・経済・ 文化について理解する	幕政の改革 幕藩体制の動揺と外圧 幕藩体制の動揺と政治改革 新しい学問の形成と化政文化	授業中の関心・意欲・態度
一学期	5	近代・現代 近代国家の成立 ・開国と幕府の滅 亡	ペリーの来航と日本開国の経 緯を理解する 幕末の攘夷運動と幕府や新政 府の動きを理解する	ペリー来航と日本の開国 開国による社会の変化 幕府の動揺 幕府の滅亡 統一国家の形成へ	ノート提出 中間考査
	7	明治維新・立憲国家の成立	明治政府の発足による社会の 変化と国際情勢について理解 する 自由民権思想と、それに対し ての政府対応について理解す る	新政府の発足 近代国家を目指して 殖産興業と文明開化 明治初期の対外関係 新政府への反抗 自由民権運動 専制政治への批判 憲法の制定	ノート提出 期末考査
				立憲政治の成立	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	近代・現代			
		近代国家の成立			授業中の関心・意
		・大陸政策の展開		条約改正	欲・態度
				朝鮮をめぐる対立	
			日清・日露戦争に至った経緯	日清戦争と東アジアの変容	
			とその影響について理解する	中国分割と日露戦争	
				日露戦争後の国際関係	
		・近代産業の発展		工業化と資本主義の発達	
	10	・近代の文化		社会運動の発生	
			民衆の生活の実態、明治期の	新しい文化の形成	
			文化について理解する		
					ノート提出
					中間考査
学		二つの世界とアジ		大正政変	
期		ア		 第一次世界大戦と日本	
"		• 第一次世界大戦	第一次世界大戦が諸外国と日	 第一次世界大戦後の国際情勢	
	11	と日本	本に与えた影響を理解する	 第一次世界大戦の影響	
				22222.	
		・政党政治と大衆		 大衆社会の形成	
		文化		2 2 7 7 1 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
		・恐慌の時代	大衆文化の実態を理解する	 世界恐慌	
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	バース・ロット 揺れ動く経済と中国侵略の本格化	
	12		世界の経済状況	日中戦争と国内体制の改変	
			昭和初期の内政と外交		
			日中戦争開戦の経緯について		ノート提出
			理解する		期末考査
			ZJ.T.) 0		791710-17 EL
	1	・軍部の台頭	第二次冊用十部: マジマ十元	 第二次世界大戦前の国際情勢	
	1	・ 第二次世界大戦	第二次世界人戦、アンテス平洋戦争開戦の経緯、戦争の経		 授業中の関心・意
		オーハビかれ	過と社会への影響について理	第二次世界大戦	欲・態度
三			解する	第一次世外人戦	19八 120/文
学			Mf y る		ノート提出
期				戦時下での国民の生活	
				敗戦 	学年末考査

その他(履修上の留意点・大学進学等のための学習など)

- ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等の配慮をします。
- ・日本史は暗記が欠かせない科目ですが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年·類·型		必修・選択
地理B	2	3年 1類 B型		選択
授業担当者		教科書名	副教材等	
****		新編詳解地理B (二宮書店)	詳解現代地區	図(二宮書店)

科目の到達目標
地理的なものの見方、思考力を身につける。また世界の文化・産業等を通して地域的特色を学ぶ。
そして、私たちの生きる現代日本と世界を多面的に比較して、国際社会を生きる人間としての自覚を養う。

評価の観点と方法について
年3回の考査の点数を基準とする。またノートや夏季課題等の提出状況などを考慮して総合的に評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4	第2章資源と産	農林水産業	世界の食糧問題	
		業		日本の農業と課題	
			資源・エネルギー	世界のエネルギー資源	
				世界の原料資源	
				資源・エネルギーをめぐる課題	
	5		工業	世界の工業の成り立ち	
				世界の工業と工業地域	
				グローバル化する工業生産と多	
				国籍企業	
学			流通と消費	世界を結ぶ交通	
期				情報通信の発達	
				世界の貿易	
				商業環境の変化	
	6			観光産業の発展	
		第3章人口と村	人口	世界の人口分布と人口増加	
		落・都市		人口増加地域の人口問題	
				人口減少地域の人口問題	ノートの提出
	7				期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9		村落・都市	村落の成り立ちと機能 都市の発達と形態 都市の拡大と都市圏 都市・居住問題と解決への努力	夏期課題の提出
	10	第4章生活文化と 民族・宗教 第Ⅲ編現代世界 の地誌的考察	民族と国家	国家の形成と領域 民族問題と領土問題 国家間の結びつき 国際連合の役割と課題	
		第2章現代世界の 諸地域	 中国 	改革開放政策による変化など	
		44-5-34	韓国	近隣諸国と競う経済発展など	
_	11		東南アジア	東南アジア諸国の成り立ちなど	
二学期			インド	巨大な人口と工業など	
旁			西アジア・中央アジア	位置と歴史的背景など	
			アフリカ	多発する紛争など	
	12		EU	統合するヨーロッパなど	
			ドイツとポーランド	経済と産業など	
			ロシア	産業と生活の変化など	
			アメリカ	移民と開拓など	
			ブラジル	経済発展するブラジルなど	
			オーストラリアとカナ ダ	土地資源の分布と利用など	ノートの提出 学期末考査
=	1	第3章現代世界 と日本	世界の中の日本	輸入に依存する日本・輸出に依 存する日本 など	
学期			持続可能な社会に向けて	課題解決と日本のあるべき国土 像	ノートの提出 学年末考査

その他 (履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

入試対策として、統計資料集・過去問などのプリント教材等を補助教材として使用する。 必要に応じて、時事的内容も紹介する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択	
地理B	3	3年 2類 理型	選択	
授業担当者	B当者 教科書名 副教材等		教材等	
***		新編詳解地理B(二宮書店)	地理統計要覧(二宮書店)、	
		詳解現代地図(二宮書店)	資料地理の研究(帝国書院)	

科	目0	D到	塐	目	橝
144	ロィ	ノシリ	玶	Ħ	作形

早めに教科書内容の学習を終え、その後は実践問題演習を中心に既習範囲の復習を行い、大学入学共通テス ト対策を行う。

特に地形図の読図、統計・資料の読み取りに慣れさせる。

評価の観点と方法について
年間4回の考査(1学期中間・期末、2学期中間・期末)の点数を基準とする。
また、ノートや夏季課題の提出等も評価の対象とする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	4 5	第3章 人口と村落・都市	現在の人口・都市問題 から将来の社会問題 を予測する	The second secon	
		第4章 生活文化と 民族・宗教	世界の衣・食・住の特 徴を知るとともに、民 族や領土をめぐる争 いについて理解する	世界の名・食・仕 世界の言語と宗教	ノートの提出 中間考査
期	6	第Ⅲ編 現代社会の 地誌的考察	世界の各地の地誌を、最近の状況と国際関係を重視して理解する。	東アジア 東南アジア・西・中央アジア 南アジア・西・中央アジア アフリカ・ヨーロッパ・ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ・オセアニア	
	7				ノートの提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
	9	実践問題演習	入試過去問題等の演習と既習内容の 復習	入試過去問題等の演習やプリント等により、 既習内容の復習とセンター入試対策を行う。	夏季課題の提出
	10				ノートの提出
					中間考査
学 期					
	11				
					ノートの提出
	12				期末考査
三	1	大学入学共通テ スト直前対策			
学期					
	- 14 -		L NEWANTENE OF A COMM		

その他 (履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

入試対策として、過去問・模試などのプリント教材等を補助教材として使用する。 必要に応じて、時事的内容も紹介する。